

スポーツ科学部コース 参考資料(2026年度予定)

*科目一覧は暫定であり、一部変更となることがございます

1.スポーツ医科学コース

本コースはスポーツ科学における諸領域のうちの自然科学系領域を学ぶためのものであり、ここではスポーツ医学、スポーツ生理学、運動生化学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、スポーツ栄養学、トレーニング科学などの、スポーツ科学に係わる基礎分野の理論的な学習の場を提供する。また、これらの理論を踏まえた上で、スポーツ・運動時の生体応答や生体適応ならびに生体における合目的運動経過のメカニズムを解明するための研究技法を教授する。

コース基礎科目	スポーツ医科学基礎演習[必修] 生理・運動生理学 スポーツ心理学 バイオメカニクス 解剖学 生化学 運動制御論
コース選択科目	免疫学 スポーツ栄養学 スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス スポーツ医学(内科系) スポーツ医学(外科系) 生理学 スポーツ工学 メンタルトレーニング実習 筋力の制御と適応の科学 スポーツカウンセリング スポーツ精神生理学 スポーツ認知心理学 スポーツ精神医学 分子生物学 スポーツ免疫学 Quantitative Biomechanical Analysis of Human Motion Research design and methods 1: best practice in project development Research design and methods 2: understanding quantitative and qualitative analysis and reporting

2.健康スポーツコース

このコースでは、健康スポーツ科学に関連する広範な学問領域から、心身に及ぼすスポーツや運動の役割に関する基礎知識を学習した上で、規則的なスポーツ活動や身体運動による生活習慣病の予防、高齢者や疾病者における「生活の質」の向上、および心身解放のメカニズムなどに対する理論的解明を行うとともに、スポーツや運動を通じた生涯にわたる心身の健康づくりおよび「生活の質」の向上を実現するための具体的な方法についての教育研究を行う。

コース基礎科目	健康スポーツ基礎演習[必修] 健康スポーツ原論A(健康スポーツ生理・生化学) 健康スポーツ原論B(健康スポーツ心理) 健康スポーツ原論C(健康スポーツ疫学) 健康スポーツ原論D(健康スポーツマーケティング) 健康スポーツの体力・栄養科学
コース選択科目	スポーツ生化学・遺伝学 フィットネス産業論 健康社会学 循環器リハビリテーション フィットネスプロモーション実習 フィットネス経営論 健康スポーツ指導法実習 運動処方実習 高齢者動作改善指導実習 健康教育・政策論 身体活動増進論 運動適応学 スポーツ疫学・生物統計学 スポーツ生理学 生理・運動生理学 スポーツ医学(内科系) スポーツ医学(外科系) 測定評価演習 スポーツプロモーション論 スポーツマーケティング・リサーチ スポーツ傷害評価論 コミュニティスポーツ論

3.トレーナーコース

このコースでは、実学としてのスポーツ科学を教授することを第一義の目的として、スポーツ医科学に係わる基礎知識に基づいて、スポーツ障害の予防、リハビリテーション、トレーニング技法、およびコンディショニングなどの具体的な実践技法の学習の場を提供する。このことにより、競技者のコンディショニングおよび中高年者の健康体力づくりをサポートするアスレティックトレーナーおよび健康医科学トレーナーとして必要な能力、ならびに広く社会一般にスポーツ科学の実践技法を伝播する能力を養う。

コース基礎科目	トレーナー基礎演習[必修] スポーツ医学(外科系) 救急処置法実習 スポーツ解剖学(上肢) スポーツ解剖学(下肢) テーピング実習 測定評価演習 スポーツ生理学 生理・運動生理学 バイオメカニクス スポーツ医学(内科系) スポーツ栄養学 スポーツバイオメカニクス
コース選択科目	アスレティックトレーナー論・実習 トレーナー実習 リコンディショニング実習 リコンディショニングデザイン論 スポーツ傷害評価論 ストレッチング実習 リコンディショニング論 コンディショニング指導実習 スポーツ傷害評価実習基礎(上肢) スポーツ傷害評価実習基礎(下肢)スポーツ傷害評価実習(応用) スポーツマニュアルセラピー実習 コンディショニングデザイン論 コンディショニング実習 アスレティックコンディショニング実習 スポーツ法

4.スポーツ文化コース

本コースでは、スポーツを広義にとらえ、これと文化、社会、人間との関係を科学的に考えるなかで、これら関係のなかに伏在する諸問題を解決したり、新しい文化のあり方を提言したりできる人材の育成に努める。また、論理性と実証性に基づいた優れた意見を提言しうるジャーナリストの養成にも本コースは対応する。

コース基礎科目	スポーツ文化基礎演習[必修] スポーツ社会学 スポーツ史 スポーツ人類学 舞踊文化論 スポーツ哲学 スポーツ文化調査法 スポーツメディア論 武道論 アジア・スポーツ文化論 スポーツ文化研究入門
コース選択科目	スポーツジャーナリズム論 柔術技法論 中国武術論 伝統スポーツ論 フットボール文化論 ベースボール文化論 アメリカ・スポーツ文化論 ヨーロッパ・スポーツ文化論 スポーツ・ジェンダー論 比較格闘技論 21世紀ダンス論 比較舞踊論 日本スポーツ文化論 Historical Foundations of Modern Sport and Culture in American Society

5. スポーツビジネスコース

このコースでは、スポーツに関する幅広い知識の学習とともに、社会調査やスポーツマネジメントに関わる実習によってスポーツビジネスの場で活躍できる専門的技術を習得し、その基礎の上に、マーケティング・メディア・イベント・用品・施設などスポーツ産業の諸現象について分析できる人材の育成に努める。

コース基礎科目	<p>スポーツビジネス基礎演習〔必修〕 スポーツビジネス概論 スポーツ産業論 スポーツ経営学 スポーツ法 スポーツ 経済学 スポーツマーケティング論 スポーツプロモーション論 スポーツ組織論 スポーツファイナンス</p>
コース選択科目	<p>スポーツビジネス実習 スポーツツーリズム論 企業論 スポーツ マーケティング・リサーチ スポーツファシリティマネジメント スポー ツビジネス論(製品) スポーツビジネス論(メディア) スポー ツビジネス論(サービス) スポーツビジネス論(プロスポーツ) スポー ツデザインマネジメント論 地域スポーツクラブマネジメント 会計実 務論 コミュニティスポーツ論 Theory and Practice of Global Sport Management Global Development of the Sport Industry Sport Facility and Event Management Current issues in Sport Management and Marketing</p>

6. スポーツコーチングコース

スポーツ科学や様々なレベルのスポーツ技能向上策および関連するコーチングの理論と方法を修得するためのカリキュラムを用意し、ジュニアからシニアまで、愛好者からアスリートまでの広範な実践レベルに対応できるスポーツ指導者の養成と、それを自ら競技向上に応用・実践できるアスリートの育成を目的とする。

コース基礎科目	<p>スポーツコーチング基礎演習〔必修〕 スポーツコーチング学 β アスリート論</p>
コース選択科目	<p>トップスポーツコーチング論 スポーツ技術・戦術論(種目別) パ ラスポーツ指導論・実習(パラスポーツ指導員) アスリートマネジメ ント実習 アスリート実習 I (ナショナル) アスリート実習 II (インタ ナショナル) アスリートサポート論 アスリートサポート実習 I ア スリートサポート実習 II スポーツコーチング理論・実習 I (陸上競 技、バレーボール、バスケットボール、サッカーC級、柔道、体操競 技、水泳、レスリング、フィットネス、ダンス、バドミントン、卓球) ス ポーツコーチング理論・実習 II (陸上競技、バレーボール、バスケ ットボール、サッカーC級、柔道、体操競技、水泳、レスリング、フィ ットネス、ダンス、バドミントン、卓球) スポーツコーチング論(サッ カーC級) スポーツ運動学 コーチング心理学 ジュニアスポー ツ指導論・実習(ジュニアスポーツ指導員)</p>